

室 蘭 民 報

「そろばんの提供をお願いします」と呼び掛ける生徒会メンバー



室蘭・海星学院高生徒会

室蘭・海星学院高校生徒会（戸孝代会長）は、毎年参加している国際協力機構（JICA）の「世界の笑顔のために」プログラムに今年も参加する。トンガ王国から

「そろばんがほしい」との依頼があり、生徒会メンバーは市民らの協力を呼び掛けている。

同プログラムは、開発途上国で必要とされているスポーツ、文化、教育、福祉などの関連物の提供者を日本国内で募集し、JICAが派遣しているポ

ランティアを通して世界各地へ届ける。

トンガ王国では、約30年前から子どもたちに算数嫌いの改善をいと、そろばん教育を始め、

そろばんの提供呼び掛け

トンガの子どもにプレゼント

き渡つてなく、JICAを通して同校に要望の依頼が届いた。佐々木雪菜副会長（3年）は「一つでも多くのそろばんを集め、たくさん子どもたちが学べる環境を作ってあげたい。市民のみなさんのご協力がが必要です。家に眠っている使わなくな

ったそろばんを提供してくださ

2009年（平成21年）には公立の小学校で必修学習項目とな

った。しかし、そろばんは高価で調達が難しく、そろばんを半分に分けたり、子どもたちに行き渡らな

（石川綾子）